

弥生三月春うらら! (五輪選手に感動をありがとう)

まずは、先月に行われた平昌五輪で活躍した日本選手に心からお礼を申し上げたいと思います。「お疲れ様でした、本当に有り難うございました」。特にメダルを獲得した選手からはいろんな勇気や希望そして感動をもらいました。どのメダリストも「私一人のものではありません。周りの皆さんの支援・協力・理解があったからメダルを獲得することができました。」とコメントしていたことに胸を熱くしました。本当にご苦労様でした。

さて、弥生三月春うらら、三月の声を聞いて思うことはたくさんあります…。出発(卒業)の瞬間、梅、桃、ウグイス、そして桜へ…、命の息吹を感じる頃、出発の生徒たちに勇気をもらい、新たな出会いを模索します。そして春の到来は夢や未来への飛翔を感じさせ生徒たちの門出を祝ってくれます。

また、涙を誘う別離もあり、その別離は多くの教訓と感情を生み、別離の分だけ人生のいろいろな場面で出会いがあります。そして、出会いと別れの繰り返しが人生そのものと言われます。絆、つながり、未来など、明日への言葉が叫ばれてきた今、別れや出会いを感じながら今一度自分の人生を考える機会が弥生三月春うらら…の時なのかも知れません。人生は自分が主人公のドラマだと言われます。主人公を盛り立ててくれる出会った全ての人がいなければ、それが成り立ちません。自分の周りにあるもの(地球・人・動物・自然など)を見つめ、別れと出会いを深く感じる時でありたいものです。



PyeongChang 2018



たつの市立新宮中学校長
芝崎 幸成

- ※追伸・保護者の皆様には学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。来年度、学校経営の参考にさせていただきます。
- ・三月九日に第 71 回卒業証書授与式を午前九時より行います。